



1-1 文献リストのみかた

参考文献をさがす

論文を作成する時、最初に自分の研究テーマに関連した雑誌論文や図書などを読むことが必要です。それには、論文や図書の章毎や本文の最後に載っている参考文献(引用文献、Reference)を利用して関連した論文や図書を収集するという方法が基本です。ここでは参考文献リストのみかたについて一般的な例を説明します。なお、個々の雑誌毎に参考文献の書き方が決まっていますので記載順、省略方法などに若干の違いがあります。今回の例では、APA(American Psychological Association):アメリカ心理学会が定めた文献記述スタイルを使用しています。

例1.【雑誌中の論文を引用-1】論文著者名 (年) 論文名 雑誌名 巻号 ページ

<u>Su, L.K., Kinzler, K.W., Bogelstein, B., Preisinger, A.C., Moser, A.R., Luong, C., Gould, K.A. and Dove, W.F.</u>					
論文著者名					
(1992)	<u>Multiple intestinal neoplasia caused by a mutation in the murine homolog of the APC gene.</u>				
年	論文名				
<u>Science</u>	<u>256</u>	<u>668-670.</u>			
雑誌名	巻号	ページ			

例2.【雑誌中の論文を引用-2(論文名が省略)】論文著者名 (年) 雑誌名 巻号 ページ

<u>Ostrowski, J., Sims, J.E., Sibley, C.H., Valentine, M.A., Dower, S.K., Meier, K.E., and Bomsztyk, K.</u>					
論文著者名					
(1991)					
年					
<u>J. Biol. Chem</u>	<u>266</u>	<u>12722-12733</u>			
雑誌名	巻号	ページ			

雑誌名は略誌名で書かれていることが多い。

例3.【雑誌中の論文を引用-3(掲載巻号やページが決定していない)】論文著者名 (年) 雑誌名 in press.

<u>Teller, D.C., Behnke, C., Palczewsk, K. & Stenkamp, R.</u>					
論文著者名					
(2001)	<u>Curr. Top.</u> in press.				
年	雑誌名				

in press とは、雑誌に掲載されることは決まっているが、まだ掲載巻号やページが決定していないもの。この場合は、論文著者名で文献検索データベース(Web of Science、PubMed 等)や電子ジャーナルアクセスサービスなどから該当雑誌のコンテンツで探す。ただし、ごく稀に掲載予定が取り消されることもある。

<よく使用される略語>

anon.	作者不明の	anonymous の略	id.	同上の、同著者の	Idem の略
diss.	博士論文	Dissertation の略	op. cit.	前掲書中	Opere citato の略
ib., ibid.	同じところに、同書	Ibidem の略			

例4.【図書中の論文を引用】論文著者名 論文名 in: 本の著者名 本の書名 出版者 出版地 出版年 (掲載)ページ

<u>R.R. Williams, P.N. Hopkins, S.C. Hunt, M.C. Schumacher, B.M. Stults, L.L. Wu, S.J. Hasstedt,</u>					
論文著者名					
<u>Inherited susceptibility</u>					
論文名					
<u>to metabolic complications of obesity.</u> in: <u>C. Bouchard(Ed.),</u> <u>The Genetics of Obesity.</u> <u>CRC Press.</u>					
本の著者名 本の書名 出版者					
<u>Bock Raton, FL</u>	<u>1994</u>	<u>pp. 147-159.</u>			
出版地	出版年	ページ			

例5.【特許を引用】 発明者 特許番号 公開特許公報等の発行の日付

Frank, D. S.; Sundberg, M. W.	U.S. Patent	US4283382,	1981
発明者	アメリカの特許	特許番号	年

特許の場合、雑誌とは異なり、名大の所蔵はないがインターネットでみることもできるものもある。
文献複写・図書貸借が可能な場合あり。

例6.【会議資料を引用】 論文著者名(年) 論文名 Paper presented at 会議名

Miller, J.D. (1992, April).	Science achievement : Differences among urban, suburban, and nonmetropolitan schools.
論文著者名 年	論文名
Paper presented at the annual meeting of the American Educational Research Association, San Francisco.	
会議名	開催地

会議の際に出席者のみに配布されたペーパーなど、公に出版されない場合もある。
入手方法は会議の開催団体への問合せ、インターネット上での公開を探すなど。

例7.【電子文献:Web ページを引用】 論文著者名(あれば) Webページの名称 URL 参照日付

JST(科学技術振興機構)	“SIST02 参照文献の書き方”
論文著者名	論文名
http://jipsti.jst.go.jp/sist/handbook/sist02_2007/main.htm	(参照 2017-12-14)
URL	参照年月日

Webページは参照日以降に内容が更新されたり、削除されたりすることもあるので注意が必要。

<論文の確認>

探している論文の情報について部分的にしか分からない場合、例えば、採録雑誌、論文名などがわからない時、わかっている範囲の情報から、文献検索データベースで入手に必要な情報を調べたり、電子ジャーナルの検索機能なども使ってみてください。検索してそのまま Abstract や本文が読めることもありますし、関連文献を探すこともできます。また、略誌名を調べる時、以下の Web サイトなどで確認できます。

ABBREVIATIONS <http://www.abbreviations.com/> (参照 2017.12.14)

NCBI - NLM Catalog <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/?db=journals> (参照 2017.12.14)

<手がかりがつかめない場合>

引用文献について手がかりがない場合は、所属学部・学科の図書室、または中央図書館 参考調査・相互利用カウンターへお尋ねください。その際、参考文献が掲載されていた雑誌や図書、あるいは該当部分のコピーをお持ちください。

<他の文献記述スタイル例>

- ①SIST02: 科学技術振興機構(JST)の科学技術情報流通技術基準(SIST)のひとつ(特に科学技術を対象)
→科学技術情報流通技術基準 参照文献の書き方
http://jipsti.jst.go.jp/sist/handbook/sist02_2007/main.htm (参照 2018.02.19)
→参考文献の役割と書き方 科学技術情報流通技術基準(SIST)の活用
https://jipsti.jst.go.jp/sist/pdf/SIST_booklet2011.pdf (参照 2018.02.19)
- ②MLA(Modern Language Association of America): 米国現代語学文学協会が定められたスタイル(特に人文系を対象)
→The MLA Style Center <https://style.mla.org/> (参照 2018.02.19)
→MLA Handbook (2F 中央参・中央学 3F 836.5 M)



Next Step

文献管理ソフト「EndNote basic」や「RefWorks」などを使うことで、希望の文献記述スタイルによる引用・参考文献リストの Microsoft Word への出力も可能です。

文献管理について→ [ガイドシート 6-5 「検索結果を管理する\(文献管理ソフトへの出力\)」](#)